

### 第3回 環境報告ガイドライン及び環境会計ガイドライン改定に向けた研究会 議事要旨

日 時	: 平成 29 年 1 月 17 日 (火) 15:00~18:00
会 場	: 都内
出席者	: ・ 委員: 上妻 義直 氏(座長)、後藤 敏彦 氏、沢味 健司 氏
(敬称略)	: ・ 環境省 総合環境政策局 環境経済課
	: ・ 事務局(EY 新日本サステナビリティ株式会社)

#### 主要論点 :

##### ü 骨子案メモについて

- 主に投資家が利用するために必要な情報(リスク情報等)を議論しつつ、ESG 報告のあり方を踏まえた上で、ガイドライン改定の方向性について検討した。
- 利用しやすいガイドラインとはどのようなものなのかについて、ガイドラインの構成等を検討した。
- ガイドラインの普及を促進するようなスキームについて、過去の施策や現在の制度や取組との連携等も視野にいれながら検討した。
- ヒートマップについては、具体的な目次づくりの段階で議論の経緯がわかるように再度検討が必要である旨議論された。
- 骨子案メモは、なお検討の余地があり「誰が読んでも」理解できるよう背景やつながりを記載するなど、全般的に記載内容を見直すことが必要である旨合意された。

##### ü 有識者ヒアリング

- 金融安定理事会(FSB)気候関連財務ディスクロージャー タスクフォース(Task Force on Climate-related Financial Disclosures, TCFD)メンバーの視点から、東京海上ホールディングス株式会社 長村 政明 氏に、「気候関連財務情報開示タスクフォースによる提言」の検討の背景、内容及び今後想定される影響についてヒアリングした。
- グローバル・サステナビリティ基準審議会(Global Sustainability Standards Board, GSSB)メンバーの視点から、ロイドレジスタージャパン株式会社 富田 秀実 氏に、GRI Standards への改定の背景や、GRI の促進策等についてヒアリングした。

#### 今後の予定 :

- ü 第4回研究会を平成29年2月に開催し、骨子案の確定、有識者ヒアリング(情報ベンダー)を実施する。
- ü 平成29年3月末日までに報告書を取りまとめる。

以上